

### 【2018年12月22日～2019年1月4日までの推移】

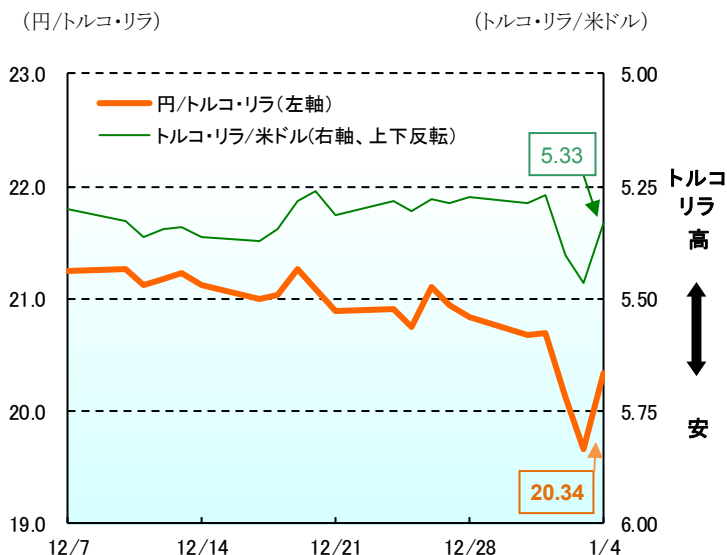
#### 【1】先々週～先週の回顧

年末年始のトルコ・リラ相場は対米ドル・対円ともに下落しました。トルコの2年国債金利は低下しました。

年末年始は市場参加者が少なく、流動性が乏しい中、年始2日までは動意に乏しい状態でした。しかし、1月3日（東京時間）の早朝にドル円が急激に円高方向に進行したことが波及し、東京市場が休場の中で、トルコ・リラは対米ドル・対円ともに一時、大幅に下落しました。その後ドル円の戻りとともに、トルコ・リラも下落幅を縮小しました。国債金利は低下しました。

なお、経済指標では、12月のインフレ率の発表があり、前年比ベースで市場予想や前月分を下回りました。

【トルコ・リラ 為替推移】(2018年12月7日～2019年1月4日)



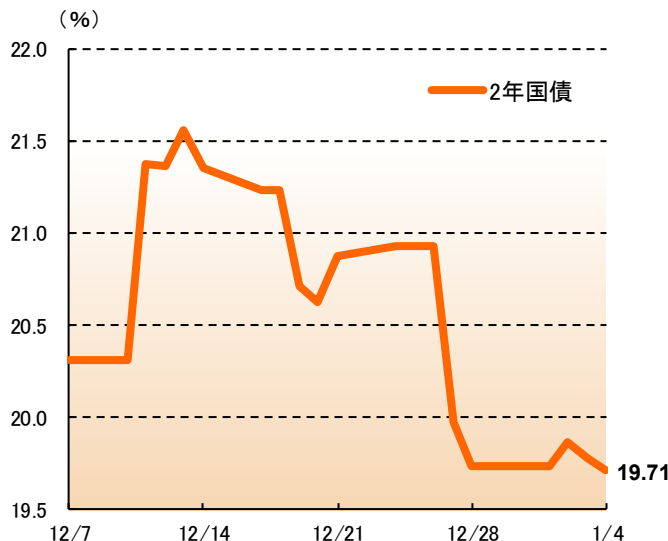
※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

#### 【2】今週の見通し

年明けのトルコ市場は、市場の注目が米中の貿易交渉に集まる中、市場のリスクセンチメントに左右される展開を予想しています。

トルコの対米関係については、昨年末の米軍のシリアからの撤退開始により、緊張の緩和が期待されます。また、トルコ貿易相が、2018年8月に米国から課された追加関税が解除される見通しを示しており、トルコ・リラのサポート要因となりそうです。国内では、内需の鈍化や政府の価格統制によるインフレ抑制効果を確認する局面が続きそうです。

【トルコ 金利推移】 (2018年12月7日～2019年1月4日)



(出所:ブルームバーグより大和投資信託作成)

#### 当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <https://www.daiwa-am.co.jp/>